

区市町村アンケート状況

参考資料3

〔コロナ前の集合研修と比べて、eラーニング形式での「新規研修」への評価・意見〕

| | | |
|---------------|-----|-----|
| 有効 | 22件 | 50% |
| どちらかという有効 | 15件 | 34% |
| どちらともいえない | 5件 | 11% |
| どちらかという有効ではない | 2件 | 5% |
| 有効ではない | 0件 | 0% |

- ・会場への移動時間が短縮でき、旅費が節約できる。
- ・時間や場所に制限なく各々のペースで受講できる点が、通常業務と並行して研修に参加している受講者の負担軽減につながっている。
- ・認定調査の委託先が減っている中、調査員を増やしていくことはとても重要であり、集合研修を再開するにしても、eラーニング形式での研修は継続するべき。
- ・随時生じる受講希望者に対し、集合研修と比べタイムラグなく機会が設けられる。
- ・集合研修での質が保たれており、かつ受講しやすい環境が提供できている。
- ・集合研修はその場で質問ができ、有用性は集合研修の方がある。
- ・集合研修であれば短期間に緊張感を持って集中して受講できる。
- ・eラーニング研修は周囲に他人がいないため、集中して研修に取り組める。
- ・集合研修では、各講師がポイントを強調して伝えることで、記憶に残り、テキストにマークを入れたり、メモを取ることができていた。
- ・動画視聴やテストのみで認定調査を適切に実施するのは難しいと感じるため、フォローアップ体制が重要と考える。
- ・新たに認定調査員となった者から提出された認定調査票の点検を行っているが、コロナ前と比較しても差はない。
- ・eラーニングのみを受講された方の調査票を確認すると、記載不十分が多い。
- ・集合研修で講師に目の前で教わるよりも身に付きにくいという感想を受講者から何度か聞いた。
- ・対面だと得られる実務上のポイント、背景を聞くことができないため、応用力が付きにくい。

近県・政令市の状況

参考資料3

| | | | |
|-------|-------|--|---|
| 神奈川県 | ライブ研修 | 1回(市町村委託研修実績あり)。県がZoomで配信し、市町村の会場に集合し受講。グループワーク実施。 | グループワークは演習用調査票により、審査会に伝わる記載について検討。 |
| 横浜市 | WEB研修 | 市2回、区6回。各6日程度で通年的継続実施。テキスト読合わせ動画、国動画、eラーニング、確認テスト | 対面方式を検討している区もある。コンサルを入れ、調査員にヒアリングを行っている。 |
| 川崎市 | WEB研修 | 各40日前後の期間で上半期4回実施。今年度はWEB継続。テキスト読合わせ動画、国動画、eラーニング、確認テスト | 川崎市認定調査員研修チャンネルのテキスト作成、動画説明は職員が行っている。 |
| 相模原市 | ライブ研修 | 市2回、県2回実施。市研修を県方式で実施。その他、県研修に共催参加。 | ライブ配信は職員が行っている。 |
| 埼玉県 | WEB研修 | 通年実施。他県ケアマネ等対象。「介護支援専門員実務研修」で認定調査員新規研修を同時実施。 | 埼玉県YouTube公式アカウント「埼玉県限定動画公開セミナーチャンネル」(3h程度、独自教材、職員説明)を活用) |
| さいたま市 | WEB研修 | 2回(5月、11月)。今のところWEB研修を継続する。国動画の視聴、国eラーニング教材の視聴、eラーニング受講。 | 初学者問題集、重点問題集の修了基準は100点満点 |
| 千葉県 | ライブ研修 | 3回実施(3、4、5月)、その他市町村委託あり。県がZoomで配信し、市町村の会場に集合し受講。 | 千葉県公式セミナーチャンネル「認定調査員新規研修」が限定公開。現在の内容は新規研修のものではない。 |
| 千葉市 | 集合研修 | コロナ前のカリキュラムを継続して、定員は会場定員の半数以下へ人数制限。 | R5.5.22に市役所会議室で20名定員で実施。 |